

## 資料2 特定健診の結果判定基準(保健指導対象者を把握するために)

総合判定		1次	2次	3次	科学的根拠			
		異常なし	要指導	受診勧奨(要医療)				
生活習慣改善の目的		生活習慣を見つめ丈夫な血管を保持する時期	生活習慣を改善して血管変化を予防する時期	受診必要。医師の指示のもとでの治療と、生活習慣を改善し血管変化の進行や重症化を防ぐ時期				
基本的な健診の項目	血管が傷む(動脈硬化の危険因子)	内臓肥満	BMI(体格指数)	~24.9	25.0~ ※肥満に起因ないし関連して発症する健康障害がある	日本肥満学会:肥満症ガイドライン(2006)		
			腹囲	男性 ~84cm 女性 ~89cm	男性 85cm~ 女性 90cm~	日本肥満学会:肥満症ガイドライン(2006)		
			中性脂肪	~149※	150~299	300~※	動脈硬化性疾患予防ガイドライン(2007)	
			HDLコレステロール	40~※	35~39	~34 ※		
			肝機能	GOT(ジオーナーゼ)	30U/I	31~50	51~※	日本消化器学会 肝機能研究班意見書
		GPT(ジピーナーゼ)		30U/I	31~50	51~※		
		γ-GTP(ガンマジナーゼ)		50U/I	51~100	101~※		
		インスリン抵抗性	血糖	空腹時	~99※ ~109	100~125 110~125	126~※ 126~	日本糖尿病学会: 糖尿病治療ガイドライン(2010) 老人保健事業における糖尿病指導区分に関する検討(2002) ◎HbA1c値はJDS値表記(平成25年度からはおおよそ0.4判定値が上昇するNGSP値表記に変更となる。基準値もプラス0.4の値に変更となる)
				随時	~119	120~139	140~	
				HbA1c◎ (ヘモグロビンエイワンジー)	~5.1※ ~5.4	保健指導値5.2~6.0 予備群判定値5.5~6.0	6.1~※ 6.1~	
	尿糖		(-)	(+)	(++)~			
	血管を傷つける	血圧	収縮期	~129※	130~139	140~※	日本高血圧学会: 高血圧治療ガイドライン(2009)	
			拡張期	~84※	85~89	90~※		
	腎臓	尿蛋白	(-)	(+)	(++)~	CKD診療ガイド(2012) ★eGFR値は尿タンパク、糖尿病や高血圧等の有無によって更に詳細に区分される		
		クレアチニン	男 ~1.29 女 ~1.19	男 1.30~1.99 女 1.20~1.99	2.0~			
eGFR★ (糸球体ろ過量)		60~	50~59	50未満				
尿酸		~6.9	7.0~7.9	8.0~	高尿酸血症・痛風治療ガイドライン(2010)			
その他の動脈硬化危険因子		LDLコレステロール	~119※	120~139	140~※	日本動脈硬化学会: 動脈硬化性疾患予防ガイドライン(2007)		
詳細な健診の項目	血管変化	血管の損傷がわかる項目	心電図	異常なし	軽度所見あり	要医療	老人保健事業における糖尿病指導区分に関する検討(2002)	
			眼底検査	H0S0	H1S1	H2S2~H3S3		
	易血管化	血管の	ヘマトクリット	~45%	46~ %		WHO貧血の判定基準	
			血色素(ヘモグロビン)	男性13.1g/dl~※ 女性12.1g/dl~※	男性13.0~12.1g/dl 女性12.0~11.1g/dl	男性~12.0g/dl※ 女性~11.0g/dl※	人間ドック学会:人間ドック成績判定及び事後指導に関するガイドライン	

※標準的健診・保健指導ガイドライン(確定版)(2007)健診検査の健診判定値(P48)